



高校生の頃にバイクにハマり、その後しばらくはクルマのカスタムに没頭していたという平澤さん。そのカスタムという視点からハーレーを知っていくうちに、徐々にハーレーに興味を持ち始めたと言う。

「クルマは一通りやり尽くしたかなっていうタイミングで、バイクにまた乗りたいと思って、ハーレーのことを調べたら、パーツの多さや、カスタムの幅広さに驚いて、ハーレーに乗りたくなったんです」

そして、'09年のヘリテージを新車で購入し、しばらくはヘリテージらしさを残したライトカスタムで乗っていた。しかし、雑誌などで様々なカスタムを目にする度に、新たなカスタム欲が沸き、3度目のカスタムでいまの姿になったという。

Owner:



雑誌やカタログを見ながらイメージする時間も好きだと言う、カスタム好きの平澤義一さん。愛車はペイントが特に気に入らそう

のが嫌で、本郷さんに相談しながらパーツをセレクトしました。日頃から自分で撮ったバイクの写真を見ながら、車体のバランスを常に考えています。格好を意識するようにもなつたのも、ハーレーに乗るようになってきたのがきっかけですね」

研究熱心な性格からか、知れば知るほどハーレーにハマっていった平澤さんは、いまでは12年式FLTRのCVOも所有しているという。

「ヘリテージは完全に自分ひとり用にカスタムしてしまつたので、TRは家族と楽しめるようにと思つて、近所はこつちで、ロングや家族と遊ぶときはTRついでという感じで乗り分けています。最近では旧車も気になってきたので、ますますハーレー欲が尽きる気がしませんね……」

カスタムはもちろん、キズやヨゴレも自分そのもの…。 / 1000 RIDER 1000 HARLEY /

ハーレーに関する欲が尽きる気がしません……。

'09 FLSTC&平澤義一さん

text/Y.Kinpara 金原悠太 photo/S.Ise 伊勢悟
取材協力/ジャックマシン TEL028-612-2980 www.jackmachine.net

Details:

'09 FLSTC

1. 女性とトライバルを描いた個性派ペイント。

サンダーバイクのストレーチタンクには、トライバルとエアブラシで描かれた女性がバランスよく配置される。ハンドルに溶接されたモトガジェットメーターなど、細部のカスタムも見逃せない



2.

エンジンの外装はケズで統一。

エンジン周りはケズファクトリーのカバーパーツ、Vanquishシリーズとエアクリナーでドレスアップし、ピレットパーツの高級感を取り入れ、ツインカムエンジンの迫力を強調している。

3.

ホイールの大径化に伴いトレールを調整。

ホイールは前後ともPMのリベラをセレクト。SJ Pのフロントフォークはホイールの大径化に合わせて、トリプルツリーで6度レイクさせ、トレール量を調整し、快適な操作性を実現している



4.

インパクトと性能を両立する250ワイド。

ワイドタイヤとしての見た目の迫力を得ながらも、旋回性など操作に支障をきたさないバランスである250ワイドタイヤをセレクト。PMのプーリーでホイールとデザインを合わせた点◎

Styling:



ワイドタイヤとペイントで個性を演出。

ワイドタイヤをコンセプトにしたカスタム。ホイールサイズをF21-R18に変更し、リアタイヤの幅に合わせて、スイングアームをハートランドのワイド用のモノに換装した。個性を主張するキャンディレッドの外装ペイントはブッシュアートのモノ。次なる目標は「オープンプライマリー化したい」とのこと



No. 466 / 1000